

第15回 Pitch to the Minister懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

1. 開催日時・出席者等

- 日時：平成30年12月12日（水）12：00～13：00
- 場所：中央合同庁舎8号館10階 平井国務大臣室
- Pitchテーマ：宇宙インフラ等を活用したIoTプラットフォームによる新サービスの創出
- 招へい者：宮川 潤一 ソフトバンク株式会社 代表取締役副社長 CTO
- 出席者：平井国務大臣、左藤副大臣、
三輪CIO、新成副CIO、三角副CIO、
河内内閣府次官、幸田内閣府審議官、
高田宇宙開発戦略推進事務局長、住田知的財産戦略推進事務局長、
森参事官（宇宙）、滝澤参事官（宇宙）
寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

2. 宮川副社長からの説明

- 成層圏プラットフォームを利用した通信事業は、低遅延・超広域エリアカバーといった点で地上基準局に対して有利性を持つ。ドローンや無人航空機等に向けた様々なサービスを提供する上での新たなインフラとなる可能性を持つ。

- 高齢化が進み、バスの赤字路線の廃止や免許返納者の増加に伴い買物困難者が増加傾向にある。このような状況の下、地方自治体や交通事業者と連携することにより、買い物代行や通院などに資するためのMaas事業を行っている。まずはモデル地区においてオンデマンドモビリティサービスを開始し、将来的には自動運転によるサービス展開へとつなげていきたい。

- 準天頂衛星みちびきを活用したサービスを開始している。測位補強信号を利用し1m程度の位置精度を提供できる受信機を開発し、数十社でPoCを進めている。トラックなど配送業などにおける位置情報や屋外作業員の位置情報などをIoTプラットフォームで一元管理が可能となる。

3. 主な質疑応答・議論

- ドローンを含めた無人航空機が今後ますます活用され、安定的な通信環境の必要性が増す中で、成層圏プラットフォームを活用した通信サービスを世界に先んじて日本の企業が行うことは重要との意見があった。

- 移動における社会課題の解決は非常に重要な問題ではあるが、一方で採算性を考えた時に事業化するにはまだまだ解決すべき課題が多いとの意見があった。このような問題を解決するためには市場を地方に限定せず、都心や世界規模でビジネスを展開していく必要があるとの意見

があった。

○位置情報が今後ますます重要となる中、準天頂衛星を活用したビジネスにいち早く取り組みサービスを開始しているが、今後は他のセンサー情報も活用し、高度なサービスを提供していきたいとの意見が出された。

(了)

(速報のため事後修正の可能性あり)